

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

政策名	1 グローバルロジスティクスの港	24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	企画調整室 事業担当課長
基本施策名	02 ロジスティクスハブ機能の強化	事務事業	成果	コスト		
個別施策名	10 臨海部道路ネットワークを充実する	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7921
事務事業名	04 鍋田ふ頭道路(進入)整備事業				連携課	工事課、港湾工事事務所
目的	鍋田ふ頭と背後地の新たなアクセス路を確保し、ふ頭内の車両の渋滞解消を図ります。				事業期間	平成9~27年度 (1期線:平成9~24年度) (2期線:平成22~27年度)
概要	整備場所:愛知県弥富市富浜~鍋田 内容・規模:臨港道路整備(延長2.3km、幅員3.5m×4車線) 総事業費:155億円 事業手法:補助事業				根拠法令等	社会資本整備重点計画 名古屋港湾計画
事業着手時点の評価	鍋田ふ頭からの交通量が増加していることから、背後の広域幹線道路網と連携した臨港道路を整備することにより、物流の効率化を図ります。費用対効果(B/C)は1期線が1.2、2期線は鍋田ふ頭プロジェクトとして算出した結果5.5となっています。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
平成25年度の実施予定	2期線において橋梁下部工及び上部工を行う予定です。				関連シート	

2 DO(実施)

平成25年度に実施した内容・結果	2期線において橋梁下部工及び上部工を行いました。							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績見込み)	合計	備考(款項目節等)
総事業費計	千円	828,000	950,900	926,400	1,130,000	980,000	4,815,300	(款項目節) 歳出: 建設費/整備費/改修費/委託料 建設費/整備費/改修費/工事請負費 建設費/整備費/改修費/補償/補填及び賠償金 (算出計算式) 本組合の負担割合は、総事業費の2分の1(その他) 平成21年度は事業費に事務費(人員費)を含む。 平成25年度事業費は最終確定額ではありません。
名管 一般会計 事業会計	補助	千円	414,000	475,450	463,200	565,000	490,000	千円
		千円	414,000	475,450	463,200	565,000	490,000	
人員費相当額計	千円	1,802	1,781	1,465	3,738	3,679	12,466	
正規職員	人	0.21	0.21	0.17	0.42	0.42		
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
合計(国費除く)	千円	414,000	477,231	464,665	568,738	493,679	2,418,314	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	最終目標	27	備考(指標の算定方法)
事業進捗率(%)	目標	5.6	5.7	5.9	7.3	6.3	(累計)100		事業進捗率(目標・実績)は、総事業費を100とした事業費(当初予算額)の割合です。 各年度の達成率は、決算額(実績)÷当初予算額(目標)×100で算出しています。
	実績	5.3	6.1	6.0	7.3	6.3			
	達成率(単年度%)	94.6	107.0	101.7	100.0	100.0			
	達成率(累計%)	38.9	45.0	51.0	58.3	64.6			
平成25年度までを総括した事業進捗率の説明	現政策体系の5年間に於いて、鍋田ふ頭道路(進入)整備事業は、順調に進捗しており、次期政策体系においても引き続き進捗管理を行ってまいります。								

4 ACTION(取組)

個別評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			引き続き円滑な貨物輸送を行っていくため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組				
引き続き、計画どおり事業を進めていきます。				